

研究主題

未来を拓く国語教育の創造

—評価活動の充実を通して、学びの質を高める単元づくり—

話すこと・聞くこと部会 研究主題

自己充実を目指し、「求めて聞く子」を育成する指導と評価の工夫

第1学年国語科学習指導案

単元名 「よくきいて、
ともだちのことをしょうかいしよう」

日時：令和4年2月18日（金）5校時
児童：文京区立千駄木小学校 1年5組 30名
担任：文京区立千駄木小学校 主任教諭 小西 祐子
指導者：新宿区立落合第二小学校 主任教諭 井上 奈々

1 単元の目標

- (1) 身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使うことができる。
- (2) 自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。
- (3) 言葉がもつよさを感じ、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 単元の評価規準

| | ア知識・技能 | イ思考・判断・表現 | ウ主体的に学習に取り組む態度 |
|---------|------------------------------|--|---|
| 単元の評価規準 | ① 身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使っている。 | ① 「話すこと・聞くこと」において、自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 | ① 進んで聞きたいことを落とさないように集中して聞き、学習の見通しをもって友達紹介をしようとしている。 |

3 単元構想

(1) 児童について（児童観）

1年生の児童は、学校生活や学校行事、家庭での出来事など、自分の経験の中で「楽しかったこと」「嬉しかったこと」を積極的に伝えている。「昨日は家でこんな事があったよ。」「〇〇さんとこんなことをしたよ。」と自分自身に起こる日々の出来事を話すことに意欲的である。

しかし、聞き手となって、友達や先生が知らせたいことを落とさないように最後まで集中して聞いたり、自分が知りたいことを落とさないように聞いたりすることには、まだ難しい実態がある。また、よい姿勢で話を聞いているように見えていても、実際には漠然と聞いているだけで内容を捉えられていなかったり、大事なことを聞き逃したりしている児童も少なくない。

このことから、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさずに集中して聞くことが難しいという課題が挙げられる。この課題を受け、本分科会では、「自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ力」を育むことが必要であると考えた。

(2) 学習材について（学習材観）

小学校での生活も約1年が過ぎようとしている。1年生は同じクラスの友達との仲を深め、互いのよさを認め合うことができるようになってきた。しかし、仲のよい友達のことはよく知っていても、あまり交流のない友達についてはまだ知らないことが多い。そこで、本単元では、「友達を紹介するために、よく聞く」ということを目的とし、友達に聞いたことを、他の友達に紹介する活動（友達紹介）を設定した。1年生の児童は、自己紹介をする経験はあっても、友達に自分を紹介してもらう（友達紹介）機会は少ない。友達紹介をするためには、1年生の思い出やできるようになったことなど、友達に聞きたいことを質問し、その回答をよく聞かなければならない。また、その子のよさをもっと伝えるためには、「なぜ」や「どのように」などの言葉を使って、さらに情報を聞き出さなくてはならない。

この単元を通して、自分の聞きたいことを落とさないように集中して聞く力を身に付けることを目指す。そして、友達紹介をすることで、互いのよさをみんなで共有し、よりよく知って仲良くする機会にできると考える。

(3) 単元について（単元観）

「友達のことをよりよく知って、さらに仲良くなろう」をテーマとして、1時間目の導入では教師による自己紹介と友達紹介のモデル動画①②を見せる。友達紹介には、紹介する人から見た評価や感想が自然と入るため、その子のよさが自己紹介よりも伝わりやすい特性がある。モデル動画を通して、自己紹介にはない友達紹介のよさに気付くようにしたい。

2時間目では、モデル③「ともだちしらべ」を見て、聞くことの技能や態度などについて学び、簡単に質問して「ともだちしらべ」を行う。そこでは、友達のよさが詳しく聞けたかを振り返り、より詳しくする必要があることに気付かせる。詳しく聞きたい質問を考え、どのような言葉（聞き方のこつ）を使って伝えるかを考える。3時間目では、モデル③「ともだちしらべ」を再度参考に、聞きたいことを明確にもち、さらに詳しく質問ができるようにする。質問をして得た情報や自分の感想を、メモに記入して内容を整理し、友達紹介をする。1回目と2回目の自分の「ともだちしらべ」を振り返ることで、よりよく友達を紹介するためには、自分の聞きたいことを落とさないように聞き、紹介する内容を付け足したり、感想を加えたりして伝えるとよいことに気付くことができる。と考える。

4 研究主題に迫るために

低学年分科会重点
互いの話に関心をもち、共感して聞く

- 主体的な学び
 - ・ 聞き方のコツを使って「ともだちしらべ」をしたり、友達紹介をしたりしている。
 - ・ 友達のよいところを見つけようと、進んで質問をしている。
- 対話的な学び
 - ・ 「ともだちしらべ」の中で、聞き方のよさや感想を伝え合っている。
 - ・ モデルを基に、質問の仕方を学び、「ともだちしらべ」をするときに生かしている。
- 深い学び
 - ・ 学んだ聞き方のコツを使うことで、聞きたいことを正確に聞いたり伝えたりすることができることを実感し、学習や生活に生かそうとしている。

(1) 学びの質の向上を図る単元の工夫

- ① 聞きたいことを落とさず聞くために、育てたい資質・能力を焦点化する。
第2時では、うなずきながら聞いたり、笑顔で聞いたり、相づちを打ったりするなど、共感して聞くための態度を学ぶことを目指す。また、さらに詳しく友達のことを知るための質問の仕方（聞き方のコツ）を学ぶことを目指す。学んだコツの中で、自分の関心があることを聞くためにはどの質問の仕方を用いればよいか考えて、尋ね返す姿価値付けていきたい。

(2) 学習改善・授業改善につながる評価活動の工夫

- ① 聞き取ったことをメモする。
友達に質問したことをメモとしてワークシートに記入していくことで、児童は聞いた内容を客観的に見直すことができるだけでなく、自分が聞きたい内容を明確にもち、学びの振り返りや変容の自覚に効果的であると考えた。
- ② 話し手による評価を取り入れる。
話し手の児童に質問を受けた時の感想を聞き、話し手の満足度を確かめる時間を設定する。このことで、聞き手が聞きたいことを聞き出せるような聞き方や、聞き手側の姿勢、表情、質問などの態度や聞き方のコツについて振り返ることができる考えた。
- ③ 振り返りカードを活用し、自己の学びを振り返る時間を設定する。
第2時と第3時の終末に振り返りカードへの記入の時間を設定する。振り返りカードには、できるようになったことや気が付いたこと、質問されたときの感想を書くように視点を提示する。指導者が児童の個の変容を捉えるためだけでなく、児童自身が自己評価として、単元を通して学んだことを自覚できることをねらった。

(3) 言葉の力の活用を意識した学習活動の工夫

- ① 「ともだちしらべ」のモデル動画とシナリオを提示する。
自己紹介と比較した友達紹介のよさや、「ともだちしらべ」の際の聞き方のコツなどを学ぶために教師が実演するモデル動画とそのシナリオを教材とすることで、児童は興味をもって学ぶことができる。また、第2時・第3時では、モデル③「ともだちしらべ」を、繰り返し見ることで、児童自身が身に付ける力を明確に自覚することができる考えた。

モデル①自己紹介

私の名前は、〇〇です。
 1年生の思い出は、運動会でダンスを踊ったことです。
 とても楽しかったです。
 これで終わります。

モデル②ともだちしょうかい

| | |
|---|---------------------------------------|
| ともだちしょうかい | 自己紹介と比較した友達紹介のよさや言葉のちがい |
| これから〇〇さんの紹介を始めます。 〇〇さんの1年生の思い出は、運動会でダンスを踊ったこと <u>だそう</u> です。 お家の人がたくさん見に来て緊張したけれど、笑顔で踊れて嬉しかったと <u>言</u> っていました。 私は〇〇さんのダンスがとてもすてきだと思いました。 これで〇〇さんの紹介を終わります。 | 聞いたことを伝える言い方 友達の良さや自分の感想が入っている |

モデル③ともだちしらべ

| | |
|---|-------------------------------|
| ともだちしらべ | 聞き方のよさ、聞き方のこつ |
| A: 〇〇さんの1年生の思い出は、何ですか？ B: 運動会でダンスを踊ったことです。 A: <u>そうなんですね。</u> その時は <u>どんな</u> 気持ちでしたか？ B: お家の人がたくさん見に来ていて、緊張したけど、 笑顔で踊れて嬉しかったです。 A: <u>うんうん</u> 、たくさんいて緊張しましたね！ でも〇〇さんのダンスすごく上手でした！ | 相づち、質問の言葉 相づち、共感 感想 |

5 単元計画

| 過程 (次) | 時 | 学習活動 | ○指導上の留意点 | ◆評価規準 ★評価方法 | |
|-----------|---|--|---|---|--|
| 1 | 1 | 1 これまでの友達との関りを振り返る。 2 教師の自己紹介と「ともだちしょうかい」(実演)を比較して見る。 | ○一年間、共に過ごした友達ともっと仲よくなって2年生を迎えようとする気持ちをもつために、友達のよさを振り返る時間を設ける。 | | |
| | | 「ともだちしょうかい」のよさを見つけよう。 | | 3 モデル①自己紹介、モデル②「ともだちしょうかい」の動画とシナリオを見て、違いを話し合う。 | ○「ともだちしょうかい」には、他者から見た評価が入ること、よさが伝わりやすいこと、より詳しく説明していることに気付かせる。 |
| 1 | 1 | よくきいて、ともだちのことをしょうかいしよう。 | | 4 学習課題を設定し、学習の見通しをもつ。 「ともだちしらべ」 →「ともだちしょうかい」 5 紹介する内容を考える。 ① 1年生の思い出 ② できるようになったこと | ◆ウ 進んで聞きたいことを落とさないように集中して聞き、学習の見通しをもって「ともだちしょうかい」をしようとしている。 ★発言 |
| | | ききかたに気をつけて、ともだちにしつもんしよう。 | | 1 モデル③「ともだちしらべ」を見て、聞き方のよさを考える。 2 「ともだちしらべ」をし、聞いたことをメモに取る。 | ○笑顔、姿勢、相づちなど聞き方のよさにも着目させる。 |
| 2 | 2 | 3 聞きたいことを考え、その聞き方のコツを学ぶ。 | ○モデル③を基に、聞きたいことを聞くためにどのような言葉を使うかを考える。 ・いつ(時間) ・どこで(場所) ・どのように(方法) ・なぜ、どうして(理由) ・どんな(様子)等 | ◆イ 自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 ★発言・ワークシート | |
| | | 4 本時の学習を振り返る。 | | | |

よくきいて、もっとするためにしつもんしよう。

1 モデル③「ともだちし
らべ」を見て振り返
り、聞き方のこつを確
認する。(教師の実演)

○シナリオも用いながら、
聞き方のよさ、聞き方の
こつ、感想をもつことの
よさに気付けるように
する。

◆ウ 進んで聞きた
いことを落とさ
ないように集中
して聞き、学習の
見通しをもって
「ともだちし
ょうかい」をし
ようとしている。

2 「ともだちしらべ」1回
目をする。(1年生の思
い出)

○自分が聞きたいことを
について、聞いたことを
ワークシートにメモで
きるようにする。

★発言

3

3 1回目の「ともだちし
らべ」の感想を伝え合
う。

○話し手に自分の感想を
伝えることが、話し手の
満足感につながること
に気付けるようにする。

◆イ 自分が聞きた
いことを落とさ
ないように集中
して聞き、話の内
容を捉えて感想
をもっている。

4 「ともだちしらべ」2回
目をする。(できるよ
うになったこと)

○自分が聞きたいことを
について、聞いたことを
ワークシートにメモで
きるようにする。

★発言・

ワークシート

5 2回目の「ともだちし
らべ」の感想を伝え合
う。

○2回目の「ともだちし
らべで」、1回目よりも
よく聞けたことを、話し
手の意見と共に振り返る。

6 「ともだちしらべ」に
ついて、学習を振り返
る。

朝の会

○ 朝の会で「ともだちしょうかい」をする。

○ 「ともだちしょうかい」を聞いて感想を伝える。

6 本時の学習

(1) 本時のねらい

「ともだちしょうかい」の内容について、自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。

(2) 本時の展開

| 学習活動 | ○指導上の留意点 | ◆評価 ★評価方法 |
|--|--|--|
| 1 前時の学習を振り返る。 | | |
| よくきいて、もっとするためにしつもんしよう。 | | |
| <p>2 モデル③「ともだちしらべ」を見て振り返り、聞き方のこつを確認する。(教師の実演)</p> <p>3 「ともだちしらべ」1回目をする。</p> <p>① 1年生の思い出について「ともだちしらべ」をする。</p> <p>② 1回目の「ともだちしらべ」の感想を伝え合う。</p> <p>4 「ともだちしらべ」2回目をする。</p> <p>① できるようになったことについて、「ともだちしらべ」をする。</p> <p>② 2回目の「ともだちしらべ」の感想を伝え合う。</p> | <p>○シナリオも用いながら、聞き方のよさ、聞き方のこつ、感想をもつことのよさに気付けるようにする。</p> <p>○自分が聞きたいことについて、聞いたことをワークシートにメモできるようにする。</p> <p>○話し手に自分の感想を伝えることが、話し手の満足感につながることに気付けるようにする。</p> <p>○自分が聞きたいことについて、聞いたことをワークシートにメモできるようにする。</p> <p>○2回目の「ともだちしらべ」で、1回目よりもよく聞いたことを、話し手の意見と共に振り返る。</p> <p>○聞きたいことをより詳しく聞くことで、友達のよさを紹介できることを確認する。</p> | <p>◆主体的①進んで聞きたいことを落とさないように集中して聞き、学習の見通しをもって「ともだちしょうかい」をしようとしている。 (★発言)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○概ね満足できる児童への次時以降の手立て 詳しく聞いたことや自分の感想について、「ともだちしょうかい」で話すように助言する。</p> <p>○概ね満足できる状況を目指す児童への手立て 前時のワークシートを用いて、詳しく聞きたいことを確認するように助言する。</p> </div> <p>◆思考①自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 (★発言・ワークシート)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○概ね満足できる児童への次時以降の手立て 聞き方のよさや聞き方のこつを用いながら、学習や生活の中で相手の話を聞けるように助言する。</p> <p>○概ね満足できる状況を目指す児童への手立て モデル動画やシナリオを確認しながら聞き方のこつに気付かせ、質問できるよう個別に指導する。</p> </div> |
| 5 「ともだちしらべ」について、学習を振り返る。 | | |

